

5月30日



みんなで出しあったアイデアを参加企業にプレゼン

生徒の皆さんは、出し合ったアイデアの中から8つに絞ってプレゼンしました。食品に関連するものが多かったようです。今回の商品開発は、国東食彩ZECCOの中園彰三さんと国東ゴコク堂の松林智宜さんに決定しました。



山田 拓人さん

企業の方がどんな反応をするか不安でした。でも、思い切って意見をぶつけたところ、私達の意見に真剣に向き合ってくれて、ホッとしました。

6月20日



国東ゴコク堂1回目試作品「バナナプレス」と「ふりかけ」を試食



国東ゴコク堂の松林さんは、海産物のプレス等が得意なことから、『果物をプレスしたらどうなるだろう』と『海産物をプレスしてふりかけにする』の意見で試作しました。



松原 航太さん

これはうまくいくと思って作成を頼みましたが、想像したとおりにはいかず、商品開発の難しさを実感しました。

7月4日



国東食彩ZECCO試作品「赤鬼バーガー」と「青鬼バーガー」を試食



国東食彩ZECCOの中園さんは、『鬼をイメージしたバーガーで、とにかく辛い「赤鬼」と野菜やバジルを使ったヘルシーな「青鬼」の2種類』を試作しました。



國廣 葵さん 土谷みなみさん

國廣さん 桜王豚を使った赤鬼バーガーは、ちょっと辛すぎるので、辛さを少し押さえれば言うことありません。
土谷さん ブトエビとバジルを使った青鬼バーガーは、このままお店で売っても売れそうな味。プロの料理人の凄さを知りました。

7月5日



国東ゴコク堂の2回目試作品「オニオンプレス」を試食



国東ゴコク堂の松林さんは、3月に生徒がアイデア出した中の「鬼オンライン」から「オニオンプレス」を試作。プレーンとブラックペッパー、柚胡椒、味噌の4つの味を用意し、家に持ち帰りアンケートを取ることにしました。



豊田 彩華さん

プレゼンしていないアイデアの中からもアイデアを拾い上げる松林さんの本気度を感じました。ただ、オニオンプレスはタマネギの味がそのままなので、まだ何かを足す必要があると感じました。

僕らの手で未来を創る 地域ソーセイプロジェクト

1月29日



国東市・国東市商工会・国東高校双国校の連携協定調印式



この連携協定によって行われる地域ソーセイプロジェクトは、地域創生の取組を「ソーセイ」と後押ししたい市。昔の商店街の姿に「蘇生」させたい商工会。独自の魅力を「創生」して生徒を獲得したい学校。3つの想いを組み合わせたプログラムです。



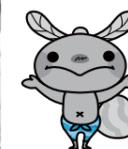
田北 寛さん

双国校を盛り上げるため、商工会と市の皆さんが協力してくれました。これからの先が見えず不安もありますが、すごくありがたいことなのでしっかり頑張ります。

2月8日



これから一緒に商品開発する経営者の仕事を訪問



高校生と連携して商品開発に協力してくれる経営者は、国東ゴコク堂の松林智宜さん、国東食彩ZECCOの中園彰三さん、未来企業カレッジの南暁さん、国東七（セブン）の坂本隆之さんの4名です。



山元彩弥斗さん

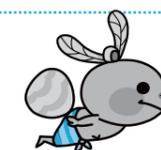
今回の見学で、地元経営者の仕事への熱意や商品へのこだわりを知る良い機会になりました。

3月12日



一人10個以上を目標に商品のアイデア出し

高校生の目線で商品開発のアイデアを出すのが、このプロジェクトの要の部分になります。高校生は、自由な発想でアイデアを出しました。



菊池 七海さん

国東に18年住んでいるので、国東らしさを知っているつもりでした。もっと国東のことを知らないといけないと思いました。